

NIE 教育に新聞を

新聞 読んだ考えた

八戸学院光星高3年

ふじた あかね
藤田 紅音さん



2022年3月13日付5面「酒 飲めても飲まぬ選択」 飲めるのにあえて酒を口にしない生活スタイルへの関心が高まっている。健康志向の高まりに加え、新型コロナウイルス禍で外食の機会が減ったことで流れは加速。酒を扱う飲食店などもノンアルコール飲料に活路を見いだそうと工夫を重ねている。

私はこの記事を読んで、コロナも悪いことだけではないと思いました。コロナ禍によって人々の飲酒習慣が変化したからです。

アルコールにはいい面もあるでしょうが、大量にお酒を飲むと興奮状態になり、理性を保てなくなるケースがあると聞きました。飲みすぎると健康への影響も心配です。また、判断力や思考力が低下し、事件や事故につながる危険性も増えます。最悪の場合、命にかかわる取り返しのない

ノンアルコール広がり期待

事態になる恐れもあります。私はまだ10代なので分かりませんが、前述の例からお酒にはデメリットの方が多いのではないかと考えます。しかし、お酒を飲みたい人もたくさんいるでしょう。こうした人のために、アルコールを含まないのに、風味がお酒に似ているとされるノンアルコール飲料が増えることはいいことだと思います。それによって、お酒を飲む人が少なくなり、飲酒による事故や事件が減ることを期待しています。

コロナ禍で皆、大変な思いをしながら生活しています。さまざまな工夫によって、人々のストレスや不安をやわらげることができたらいいと思います。